

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	榎島ひいらぎ保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成 25 年 1 2 月 1 8 日

総 評	<p>榎島ひいらぎ保育園は平成 23 年に開設された保育園です。周辺には工場や店舗があり、続いて住宅街が広がっています。</p> <p>「心に華を咲かせよう」という法人理念のもと、保育目標である「やさしくたくましい心」「つよい体」「考える力」を持つ子どもに育てるべく、日常の保育以外に空手教室やサッカー教室など様々な取り組みを行っています。また、自然（科学）を愛する保育を通して子どもが生命の大切さに気付くように、園内で様々な生き物を飼育したり、畑で野菜を栽培したりしています。</p> <p>園舎は入所定員には十分なスペースがとられており、子どもの発達や体力が保障されるようになっています。職員配置についても、基準よりゆとりのある人員が配置されており、一人ひとりの子どもを大切にしたい保育がされています。</p> <p>また、運営面においては、地域の子育て家庭を対象に体験保育や園庭開放などを実施している他、園長自らが地域のコミュニティセンターで行われている会合に参加するなど、地域福祉の推進に努めています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な園内研修（音楽や造形、運動遊びなど）に継続的に取り組まれており、職員の資質向上に取り組む姿勢、意欲が見られます。 ・様々な委員会活動（美化、保健など）も積極的に取り組まれており、職員の意見を園運営に反映させています。 ・自然（科学）を愛する保育を通して子どもが生命の大切さに気付くように、園内で様々な生き物を飼育したり、畑で野菜を栽培したりしています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の質の向上のため、指導計画の評価を月に 1 回以上記録されることで、次の計画に反映されるとなお良いでしょう。 ・職員の研修計画については、職員一人ひとりについて、個別の研修計画を立て、保育内容に研修内容を生かしていける工夫をされるとなお良いでしょう。 ・事故防止のため「ヒヤリハット」事例などを活用されていますが、マニュアルを整備されるとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を 3 点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	槇島ひいらぎ保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	平成25年12月18日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)		
	I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	B	B
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A
	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・保育理念・園目標は、パンフレットやホームページ等を利用して広く公開されています。

・保育理念や保育方針・保育目標は、年度当初に職員に提示し、その年の重点項目等を周知徹底されています。保護者に対しては、入園説明会や入園進級式、保護者会総会等の行事で説明されています。

・保育課程を編成する上で、地域のコミュニティセンターで行われる会合に園長自らが参加することで地域の実態を把握したり、行事毎に保護者に対してアンケート調査を行うことで保護者の意向を把握したりされています。

・指導計画の評価については、会議等で行われていますが、書面での記録があればなおよいでしょう。

・保育課程は、年度末にクラス毎で気になる点をあげ、必要に応じて見直しをされています。

・園長は、毎日昼礼に出席し、自分の考えを職員に伝え、共有化されています。また、園長がリーダーシップを発揮し、職員にとって働きやすい職場となっています。

・保育の質向上に向けて、園内に5つの委員会を設置し、職員が何れかの委員会に所属することで、職員の積極的な参画に取り組まれています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
		③ 定期的な個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
③ 定期的な個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		A	A	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A

[自由記述欄]

- ・園長は、市内の園長会等で、保育制度問題や子育て環境の情報を集めるなど、事業経営をとりまく環境を把握しています。
- ・人員体制については、3歳未満児には保育士を多めに配置するなど、職員の就業状況に配慮されています。
- ・園長は、職員と年1回個別面接の機会を設け、職員の就業状況や意向を把握するように努めています。また、京都市民間社会福祉施設職員共済会へ加入するなど、福利厚生に努めています。
- ・職員が職務に対して悩みなどがあった場合の相談窓口として、主任が相談に応じる体制をとっています。そのことが書面化された資料があるとなお良いでしょう。
- ・研修の中でも園内研修を月1回以上実施されており、職員の質向上に積極的に取り組まれています。
- ・研修終了後には、研修記録が作成される他、翌日の昼礼にて5分間の伝達研修をすることで研修内容の共有化を図り、保育に反映させています。また、職員の希望を研修に取り入れられています。個別研修計画があるとなお良いでしょう。
- ・実習生やボランティアの受け入れについては、マニュアル等を作成し積極的に実施されています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	B
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

[自由記述欄]

- ・個人情報の取り扱いについてのマニュアルや苦情解決の仕組みが整備され、園のしおりや玄関に掲示しています。
- ・保護者からの意見等に対しては、送迎時に保育者とのコミュニケーションを取り対応しています。また、保護者会からの意見等を検討し、保育の改善に反映しています。
- ・今回、第三者評価を受診するに当たって、園全体として事業内容の改善に努め、またサービスの質の向上に向けて、自己評価を行っています。今後は、個々の保育士の自己評価の結果と課題を踏まえて、改善されると良いでしょう。
- ・入園の際は子どもの状況を正しく把握するために面接を行い記録しています。記録についても園の運営システムに記録され、ログインIDとパスワードが設定されており適切に管理しています。
- ・毎日、昼にミーティングを行い子どもの状況や保育についての情報交換が行われ、職員間で情報を共有しています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかがかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

【自由記述欄】

- ・登所時より園長をはじめ職員が明るく、温かな表情で愛情を持って子どもを受容し保育しています。
- ・保護者からの連絡も「園の運営システム」を利用するなど把握に努め、職員全体に周知しています。
- ・保育環境は乳幼児とも個々がのびのびと表現できるコーナーあそびの場や、くつろげる空間が設定されています。特に手作り玩具は保育士の得意分野を生かし、台所の流し台やガスレンジなど、ままごとごっこなどが楽しく展開されるよう、よりリアルに工夫して作成されており、子どもが主体的にあそびを展開しています。
- ・食事の献立にも季節の野菜をとり入れ、食材の種類、大きさ、硬さなどを工夫し、咀嚼力を育てています。
- ・給食時は、会話を楽しみながら食べていました。
- ・午睡時におけるSIDSの知識を持ち、必ず仰向けに寝かすなど保育士同士が意識の統一化を図り、午睡チェック表の記入をするなど不測の事故予防に努めています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	B	B

[自由記述欄]

- ・保護者とは日常的にコミュニケーションをとり、年2回の個人懇談を行い、それらの記録をパソコンに記録し、職員間で共有しています。
- ・新年度にクラス懇談が行われ、また、年に1回ずつ保育参加を行うことで、保護者が日常的な子どもの姿を観ることが出来き保護者の方々との共通理解の機会を設けています。
- ・子ども一人ひとりの発達記録についてはパソコンに記録され、小学校などとも連携を取っています。
- ・一時保育の保育室は確保し、一人ひとりの子どもの様子は、個人の連絡帳で把握するなど保護者とのコミュニケーションを図っています。一時保育日誌等で詳細な記録を残されるとなお良いでしょう。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	C	B
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

[自由記述欄]

- ・衛生管理・食中毒の発生時の対応マニュアルは整備され、全職員に周知しています。
- ・事故防止については、毎月事故防止のためのチェックリストに基づいた点検を行い、ヒヤリハットの事例などを共有し、事故防止策に努めた取り組みを行っています。
- ・事故や災害の発生時についての対応マニュアルは、一部整備されて全職員に周知されていますが、より具体的なマニュアルに整備されるとなお良いでしょう。
- ・不審者対応マニュアルが整備され、それに基づいた防犯の避難訓練に取り組んでいます。